

WE  
LOVE

地域医療の橋わたし



CONTENTS

- 活動報告
- セミナー報告  
リレートーク第31回
- 地域医療

社会福祉法人 恩賜財団済生会  
島根県済生会 江津総合病院 院長 中澤 芳夫 先生

# 活動報告

令和元年11月26日(火)18:00~19:30

## フレキシブル実習 (地域医療体験実習II) 報告会

【場 所】みらい棟1階 みらいラウンジ  
【参加者】17名(学生15名、地域医療支援学講座2名)

講座では、地域医療に興味ある学生が自ら企画立案を行う考える実習「フレキシブル実習」の支援を行っている。実習は事前に教員と面談を行い、学生自らが医療機関へ依頼、或いは学会参加申込を行う。



フレキシブル実習には21人の学生が参加(日本プライマリ・ケア連合学会学術大会等への参加者を含む)し、報告会には15名の学生が出席した。報告会には、各実習施設・学会での学びや魅力・自己の課題等の発表がなされ、活発な意見交換が行われた。

学生達の発表には、大学の講義では学べない地域医療の魅力を肌で感じ、次の学びにつながるモチベーションアップを感じた。

【協力機関】雲南市立病院、気仙沼市立本吉病院、浜田医療センター、福島県立医科大学、浜田市国民健康保険弥栄診療所

令和元12月16日(月)18:00~19:00

## 第2回 女性医師と医学部学生の 「えんネット交流会」

【場 所】みらい棟2階 共通カンファレンスI  
【参加者】女性医師5名、学生4名  
(女子3名、男子1名)



会場はサンタクロースや雪だるまをディスプレイし、クリスマスソングを流して、託児の7人の子供達も楽しめるよう雰囲気を演出した。

話題は核家族での子育てと仕事の両立が中心であった。女性医師は出産・育児の為にキャリアの中断を余儀なくされる。女性医師が育児をしながら働ける環境作りは、職場や所属学会で改善されつつある。しかし、子育ては子どもの発達段階にあわせ、大人の事情だけでなく部活や入試等子供の事情も絡んでくる。ファシリテーターが身近な家族の協力を得ながらも、公的にどのような声を上げ改善に向けて取り組んできたのか情報交換がなされた。

学生達もファシリテーターの声掛けや説明を聞きながら、未来を少し描けたのではないだろうか。

令和2年2月11日(火・祝)10:00~12:00

## 令和元年度第2回 総合診療医ブラッシュアップセミナー

【場 所】講義棟1階 国際交流ラウンジ  
【講 師】社会医療法人清風会  
岡山家庭医療センター長 松下 明 先生  
【参加者】35名(学生7名)



「総合診療up to dateと総合診療専門医及びそのサブスペシャリティの最新情報」というテーマでお話を頂いた。日本プライマリ・ケア連合学会設立の背景や総合診療専門医育成のための取り組み・役割、2020年度から本学会が導入する「新・家庭医療専門医制度」等についても詳しくお聞かせいただいた。

新制度は、充実した指導体制と体系的な教育機会を担保し、確実に高いレベルの専門能力が修得できるように制度設計されているのが特徴であると感じた。参加された先生方は、現在検討が進められている最新の情報に触れる事ができ、大変関心も高く、多くの質問を寄せられた。

令和2年2月11日(火・祝)13:30~16:30

## 令和元年度第2回 総合診療専門医プログラム説明会

【場 所】講義棟1階 国際交流ラウンジ  
【講 師】浜田市国保診療所連合体医師 上野 伸行 先生  
【参加者】32名(学生6名)



第1部の講演会上野伸行先生に「総合診療医師として働き始めて印象に残る症例とやりがい」というテーマでお話し頂いた。先生ご自身が経験された症例を提示され、疾患だけではなく、患者さんの社会的背景等を含め、総合的に診ることの重要性をお伝え頂いた。

第2部は、総合診療専門医育成ネットワークの8つの病院のプログラムをポスター展示し、各病院の担当者によって、その詳細が説明された。各病院のプログラムは、それぞれ特徴があり、充実した研修が出来るよう企画されている。参加した初期研修医・医学生は興味深く聴講し、担当者への質問や意見交換が活発になされた。

令和2年2月8日(土)9:00~15:00

## 第10回中四国地域医療フォーラムに参加

【場 所】アークホテル岡山 3階  
牡丹の間



岡山県・岡山大学地域医療人材育成講座・岡山県地域医療支援センターのお世話で、第10回地域医療フォーラムが開催された。午前は「地域枠卒業医師をどう支援するか」というテーマで9大学から現状と課題の報告があり、活発な議論がなされた。続いて地域枠卒業医師2名から、日々どのような思いで診療にあたり、未来を描いているのか近況報告を聞かせて頂き、地域に対する深い愛と卒後の成長に頼もしさを感じた。

午後は「ライブイベントとの両立」「地域枠学生(医師)がどのようにして実力を身につけるか」「地域医療を守るためには」の3テーマで、学生も加わりワークショップを行った。課題とその解決策を提案する中で議論を行い、多くの示唆が得られた。

令和2年2月27日(木)9:40~15:45

## 男女共同参画講義

【場 所】島根大学医学部臨床大講堂  
【講 師】広島大学医学部附属医学教育センター  
教授 蓮沼 直子 先生  
【参加者】島根大学医学部医学科4年生



臨床実習入門特別プログラムとして男女共同参画講義が島根県医師会との共同主催で行われた。午前には、蓮沼先生よりライブイベントに影響されるキャリアについて2つのシナリオが提示され、19グループに分かれてワークを行った。これまでの学びや経験値・社会制度等持てる知識を総動員し、自分の事としてディスカッションを行った。

午後からは3名のキャリアモデルの紹介があり、それらを踏まえながら、目標達成シートの作成方法を学び、自己の未来キャリア年表を完成させた。

最後に、岡山大学 教授 片岡仁美先生に「ダイバーシティ2.0時代の医師のキャリアを考える」と題して講演を頂いた。

学生達にとって、自己のキャリアや経験、働き方等に関する多様性について考える濃密な1日であった。



# セミナー報告

SEMINAR REPORT



## 地域医療セミナー



### 在宅医療でのエンド・オブ・ライフ・ケア

【実施日】令和2年1月31日(金)18:00~19:30

【場 所】みらい棟2階 共通カンファレンスI

【講 師】ももたろう往診クリニック

院長 小森 崇作 先生

【参加者】15名

#### 概要

先生が外科医から在宅医療に特化した診療所を開設されたのは、自宅に医療のサポートがあれば、患者は家で過ごすことができ、患者の生き方の選択肢が広がると考えられたからである。

日々の在宅診療の様子を動画やお話でうかがう中、会場が徐々に人としての優しさや感動に包まれていくのを感じた。それは、先生の診療がQOLを目標とする生活モデル(ICF)を重視し、その対象は病気だけでなく、それぞれの人生を持つ「人」であり、そこには個々の意思を尊重した寄り添う在宅医療の実践があったからである。

看取った家族からのメッセージには、先生への信頼はもとより、幸福な時間を共に過ごせたことへの感謝に溢れていた。

講演を通してQOLが持つ深淵の意味を教えて頂いた。



## ランチオンセミナー

#### テーマ

伝学  
え生  
たの  
いあ  
こな  
とた  
に



【実施日】令和2年1月17日(金)12:15~12:45

【場 所】みらい棟1階 みらいラウンジ

【講 師】島根大学医学部 地域医療政策学講座

教授 廣瀬 昌博 先生

【参加者】21名

#### 概要

新年初のセミナーは、3月で退官なさる廣瀬教授をお迎えした。先生が繰り返し学生に伝えられたメッセージは、「やってみないとわからない」であった。

先生は外科医としてのスタートから経歴をたどり、その時代の医局制度にも深く切り込み、ジョークを交えながら学生にお話しされた。医学博士に加えて社会健康医学博士の取得や学会への提言、米国留学、論文投稿申請など、先生の前に立ちた壁があるならば、自らが切り開き変革の一步を印された中から生まれたメッセージであることが分かった。

最後に最近視察されたスウェーデンの診療事情などお聞かせ頂き、「医療はどうあるべきか常に考えられる本物の医師になってほしい」というラストメッセージが学生達に送られた。



【実施日】令和2年1月20日(月)18:00~19:30

【場 所】みらい棟4階 ギャラクシー

【講 師】静岡県立静岡がんセンター 感染症内科

部長 倉井 華子 先生

ケースプレゼンター:

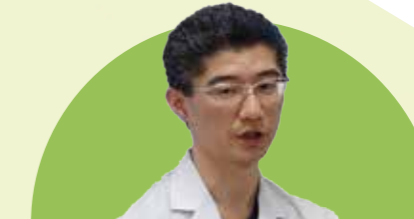
島根県立中央病院 麻酔科 藤原 辰也 先生

【参加者】32名

#### 概要

藤原先生からは、マダニを媒介とする重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の症例が報告され、学生や研修医とディスカッションが行われた。

倉井先生には、「虫と感染症—キモくてかわいいあの子達—」をご講演頂いた。先生は四季折々の虫を感じる(日虫好日)そうである。春夏秋冬で採取物は違い、越冬する今は虫が恋しくテンションが下がると話されたが、かわいいあの子達に対する愛は深く、その弁舌たるや爽やかであった。若干引き気味の聴衆も、蚊の生態とジカ感染症・デング熱、寄生虫に新型コロナウイルス感染症、また、オリンピック開催でこれ迄経験しなかった症例の発生懸念等、いつの間にか虫姫ワールドに引き込まれ、虫と感染症について楽しく学んだ。



【実施日】令和2年2月17日(月)12:15~12:45

【場 所】みらい棟1階 みらいラウンジ

【講 師】島根大学医学部 救急医学講座

教授 岩下 義明 先生

【参加者】21名

#### 概要

タイトルは「私のこれまでの歩みとこれから」であった。スライドショーで見るその歩みには、聴衆の「凄い」という心の声が聞こえてくるようであった。モットーは、「地方の地味な診療の場から世界を驚かす仕事をする」だそうである。その言葉通り、患者との体験を大切に、論文や機器の開発等を行い世界に発信されている。

これからについては、先生の構想を可視化した概念図(学生と研修医が中心にいて、大学・救急、地域、海外の3つを拠点にしながら、共同研究・重症患者の集約化・英語教育)をお見せ頂いた。

最後に示されたリンカーンの「The best way to predict your future is to create it.」は、自ら動き、チャンスを探り、それを未来に繋ぐことを実践される先生の姿勢そのものであるように窺えた。



社会福祉法人  
恩賜財団済生会  
島根県済生会  
江津総合病院

院長  
中澤 芳夫 先生

リレートークの執筆依頼を受け、改めて「地域医療」とは何だろうと考えてしまいました。なんとなく差別用語的イメージも持ってしまう。田舎で行うのが「地域医療」、いやいやそんなはずはない。

本来、「地域医療」とは、地域住民の生活を支える医療体制であり、疾病予防や疾病治療などを含む包括医療の概念であるはずである。それは、田舎でも都会でも同じなのである。そして、その役割も時代とともに変わってきている。

以前は、単純だった。外傷や内臓疾患を患っても、治療を終えると日常生活に戻ることが多かった。しかし、近年は、高齢化に伴い、一人で多くの疾患を患っていることが多く、同時に多くの疾病治療を行う必要がある。外科系にしても、手術前後で内科疾患治療を要求される。

要は、以前のように専門治療だけを行ってれば済む問題ではなく、幅広い分野での知識と技術を要求される時代となっている。さらに、退院後の生活も心配しないと退院できないときている。

医療だけでなく、介護分野も熟知していないと、患者を支援したことになる。加齢に伴う疾患の多く

は、再発、寛解を繰り返すため、再発予防、生活支援まで手を回さないといけない。当然、行政も含めた多職種の支援も受けないといけない。

たった一人の患者にこれだけのことが要求される。なんと大変なことか。

しかし、多職種が連携して、うまく治療、支援ができたときはこの上ない充実感と幸せを感じる。これが地域医療である。

これから医師として活躍される皆さん、幅広い知識と視野と信念を持って活躍されることを心から願っています。



社会福祉法人  
恩賜財団済生会  
島根県済生会江津総合病院

〒695-8505  
島根県江津市江津町1016-37  
TEL (0855)54-0101



## 今後の予定

### 第1回ランチオンセミナー

令和2年4月15日(水)12:15-12:45

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:和足 孝之 先生  
島根大学医学部 卒後臨床研修センター 助教

### 第2回ランチオンセミナー

令和2年5月15日(金)12:15-12:45

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:金崎 啓造 先生  
島根大学医学部 内科学講座 内科学第一 教授

### 第3回ランチオンセミナー

令和2年6月15日(月)12:15-12:45

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:上田 愛瑠萌 先生  
島根大学医学部 麻酔科学講座 医科医員

### 第1回地域医療セミナー

令和2年4月24日(金)18:00-19:30

島根大学医学部みらい棟1階みらいラウンジ  
講師:上野 伸行 先生  
浜田市国保診療所連合体 医師

### 第2回地域医療セミナー

令和2年5月22日(金)18:00~19:30

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:平原 佐斗司 先生  
東京ふれあい医療共同生活組合 梶原診療所 所長

### 第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

令和2年5月29日(金)~令和2年5月31日(日)

広島国際会議場・リーガロイヤルホテル広島

### 総合診療ワークショップ

令和2年5月9日(土)or16日(土)予定

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:木島 康貴 先生  
島根大学医学部総合医療学講座 大田総合育成センター 講師

### 令和2年度第1回 総合診療医 ブラッシュアップセミナー (日本プライマリ・ケア連合学会 島根県支部学術集会)

令和2年6月開催予定

### 令和2年度第1回 総合診療専門医 プログラム説明会

令和2年6月開催予定

### 第3回地域医療セミナー

令和2年7月3日(金)18:00-19:30

島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンス1  
講師:齊藤 稔哲 先生  
宮城県気仙沼市立本吉病院 院長

CHECK

